

電源騒音削減

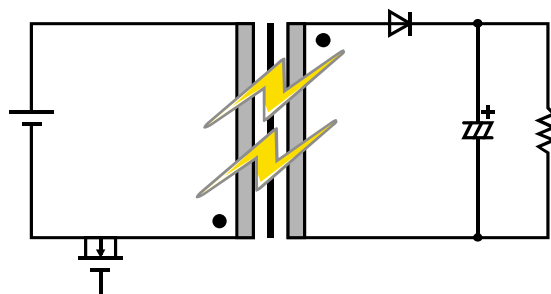
～虎の巻～

可聴周波数範囲

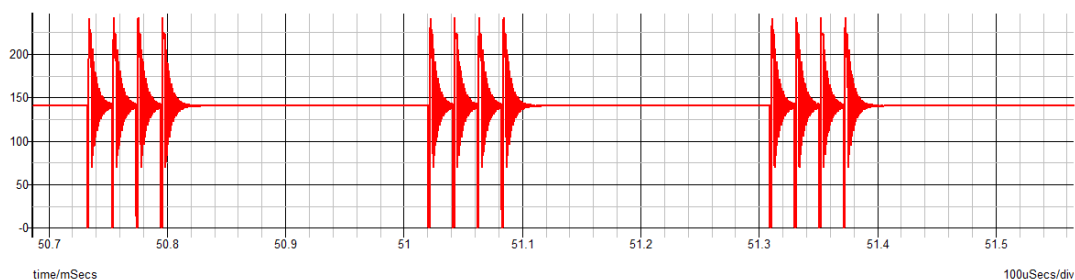
人間の耳で聞くことのできる音の周波数範囲は、一般的に「20Hz～20KHz」と言われています。

電源のスイッチング周波数と騒音発生との因果関係

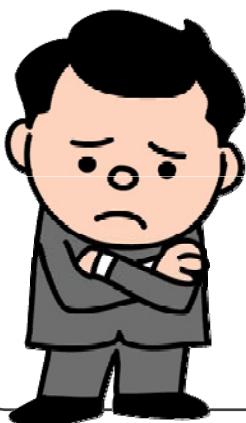
現在の電源は高効率化の為、スイッチング方式を採用するケースが増えています。そのスイッチング周波数は、30～150KHz の範囲を使用するケースが多く、軽負荷においては効率特性を上げる目的で、「バーストモード」と言われる間欠動作をさせます。その間欠周波数が可聴帯域内にある為、待機モードのような軽負荷状態において電源から騒音が発生し、問題となることがよくあります。騒音の発生源はスイッチングトランスが中心となり、その構造によって騒音レベルが変化します。



バーストモード



電源の騒音って
何とかならないかな？



その答えは裏面をご覧ください！



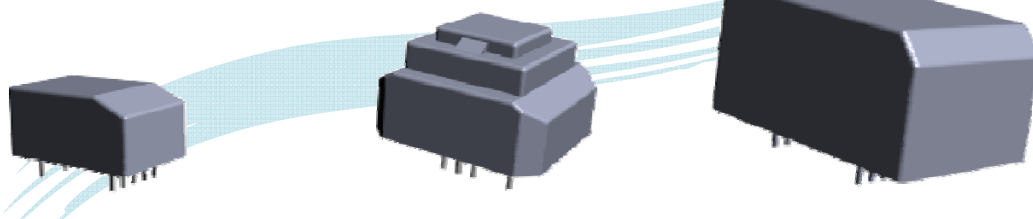
タムラの
パワーモジュール
にお任せ！

タムラ電源モジュールシリーズ

SPM

EPM

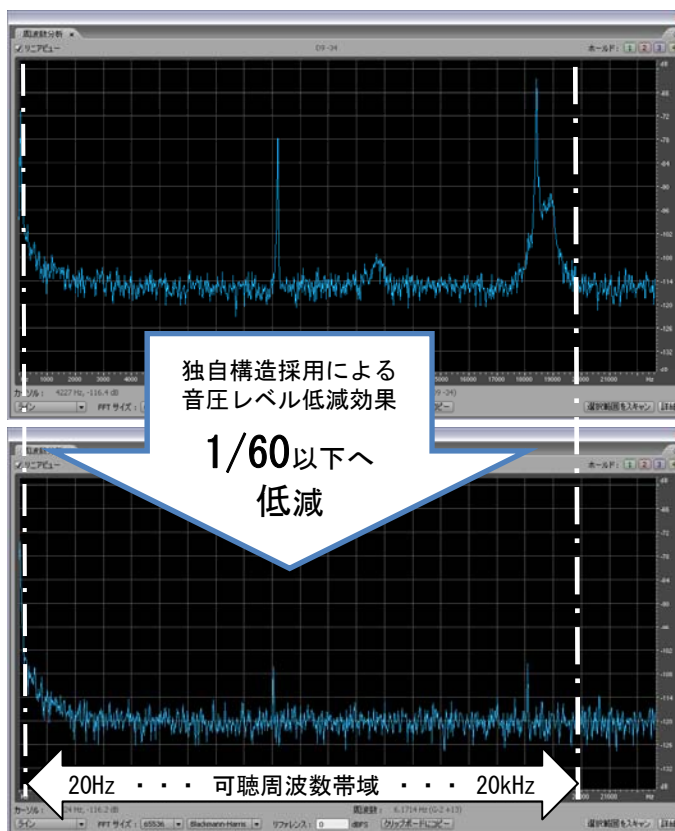
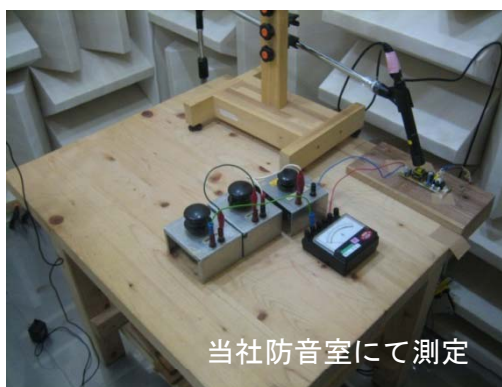
BPM



タムラの電源モジュール（EPM、SPM、BPMシリーズ）は、タムラ独自の構造を採用することで、電源より発生する騒音を大幅に低減することができます。※構造特許出願中
音圧レベルにて従来比 1/10以下（当社比：当社DISCRETE品との比較による）に低減可能です。

音圧レベル当社製品比較

バーストモードにおけるEPM製品内部トランス単体での音圧レベル



（当社比：当社DISCRETE品との比較による）